

〔場面や現状〕

●どうやって、市に市民の皆さんの思いや意見を伝えていますか？

意見の伝え方	地区で困っていること、改善してもらいたいことを回覧板で集めて書類にして行政に持って行く	地域に関わる問題は、地域内協議会及び自治会長を経由して地域意見として市へ伝えている	市政懇談会等	積極的に審議会や委員会に参加する	担当課への連絡	パブリックコメント
	自治会総会等で話し、市に要請する	自治会への申し入れ	いろいろな会で意見を言う	市長への手紙	インターネット、ホームページ	かんたん申請

制度や手続き

●どのような場面で、まちづくりに参加していますか？

コミュニティ活動	地域行事への参加	地域の祭事(村祭り)	地域防犯、防災への取り組み	諸々の活動に参加することがまちづくり	市民活動	ボランティア活動	審議会等の委員として	出前講座の参加
	地域の行事に友人をさそって出席	地域行事、祭り、泥上げ、草刈り、地域の決め事、年齢別関係団体については参加している	自治会の活動を通して	まち協の活動を通して		市の行事への参加、学習会・勉強会等	計画づくりやワークショップへの参加	
	祭りやイベント等		地域排水路等の泥上げ及び草刈り			職場事業所を通して		

市政への参加

●「市と連携・協力してこんな活動をしているよ」という事例

防災防犯・交通安全	衛生・美化	イベント実施	まち協	グループ立ち上げ	
<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織 ・地域請願のとりまとめと実行 など 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織を結成して防災訓練を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミ(衛生)に関する件 クリーンデー燕に参加 	<ul style="list-style-type: none"> 各種イベント等 		<ul style="list-style-type: none"> まちづくり協議会で活動している
<ul style="list-style-type: none"> 防犯パトロール 交通事故防止運動 	<ul style="list-style-type: none"> ゴミステーションの管理 クリーンデー燕 	<ul style="list-style-type: none"> 20年度に分水祭に5年ぶりに参加 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校行事 小学校等行事への積極的関わり(入学、卒業、運動会など) 		<ul style="list-style-type: none"> 保健センターと協力し、ワーキングの会を行っている 保健センターと協力し「市民を元気にする運動」を行っている 市と連携して立ち上げたグループがある

意見の伝え方

意見が伝わったかが分からない	市民の要請や要求も取り上げるシステムが整理されていない
意見を伝える機会が少ない	市民の意見が反映されない

周知不足

制度を知らない
情報の更なる公開と要求解決の流れの明確化

情報があいまい

(議員)個人が市へ直接申し入れを行い内容が理解できず苦勞する事が多い

役割があいまい

市民の協力の限界と行政の限界の整理	個人的な問題と地域の問題の分けがたいへんである
-------------------	-------------------------

参加者が少ない

参加者が少ない、増えない	委員等を公募しても集まらない。メンバーが同じ
--------------	------------------------

理解・認識不足(参加者側)

自主防災の必要な事が各自治会の人に分かっていない	活動に対する理解不足	地域の決め事についての認識不足
--------------------------	------------	-----------------

資源不足

資金不足

資金不足	人が動くとお金がかかる。資金が足りない
保健センター事業なのに予算がない(使えるお金がない)	

活動場所の不足

活動する機会、拠点が少ない

メンバーの固定化

役員の職が集中してしまい、肉体、気持ち的に疲れる	活動終了後のお世話がたいへん。(クリーン作戦後のゴミの整理)
--------------------------	--------------------------------

周知不足(実施者側)

周知不足	情報が少ない	学習の機会が少ない
------	--------	-----------

人材育成

中心者の育成が必要	人材は多くあると思うが、これを表に出せる情報の手立て
-----------	----------------------------

行政の対応

行政職員からの協力不足	雰囲気や時間帯が悪い
-------------	------------

組織活動の停滞

地域審議会等を生きた活動体に出来ないか

〔解決策〕

システム

市民の要求解決のためルール、システムを確立する	住→小地域→大地域→市の窓口へ	行政の受付窓口を1本化
意見の受け付け窓口を1つにする	市の窓口→担当部→自治会長→小地域→住民	既存の制度の見直し

情報提供・共有

情報提供の仕組みの充実	学習会(座談会)の機会を設け、現状を知ってもらう
情報を分かりやすく提供する。専門用語の羅列をさける	行政で学習の機会をつくる

支援(人的・資金)

活動団体への行政の支援	地域活動資金補助
最低必要人員は関係者への参加をお願いする	活動資金を出してもらう
経費削減の中で行政効果を拡大するノウハウを作成する	市民の安全安心のための生活を推進する行政と財源(税)を認識する

意識改革

行政・自治会の意識改革	地域の一人としての自覚を持つ	まちづくりに対する地域住民の意識の向上
-------------	----------------	---------------------

役割の明確化

協働の仕組みと効果、結果のルールを確立する	行政・市民・事業所の役割を明確にする
-----------------------	--------------------

- ① 市民、行政、コミュニティが連携、協力していくため、それぞれの役割分担を明確にする必要がある。
- ② 市民活動団体が協力、連携していくには、行政の支援(情報提供、人的・財政的支援)も必要である。
- ③ 協働の推進だけでなく、行財政改革など自治体運営、まちづくり協議会の運営の見直しや、市民と職員の意識改革も必要となる。
- ④ 市民参画を推進するため、市民が行政課題や市の施策について正確に情報を得られるよう、行政情報について学習する機会を設ける必要がある。